

CRES を使用する Cisco E メール セキュリティ アプライアンスから生成されるセキュアエンベロープの有効期限を事前設定できますか。

内容

[概要](#)

[RESを使用するCisco Eメールセキュリティアプライアンス\(ESA\)から生成されるセキュアエンベロープの有効期限を設定できますか。](#)

[メッセージへの暗号化ヘッダーの挿入](#)

[手順](#)

[次の作業](#)

[暗号化ヘッダー](#)

[暗号化ヘッダーの例](#)

[オフラインで開くためのエンベロープキーキャッシュの有効化](#)

[Javascriptなしのエンベロープの有効化](#)

[メッセージの有効期限の有効化](#)

[復号化アプレットの無効化](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Registered Envelope Service(RES)を実装するCisco Eメールセキュリティアプライアンス(ESA)から生成されるセキュアエンベロープの有効期限を設定する方法について説明します。

RESを使用するCisco Eメールセキュリティアプライアンス(ESA)から生成されるセキュアエンベロープの有効期限を設定できますか。

はい。暗号化のフラグが付けられた発信メッセージにSMTPヘッダーを追加できます。これには、「X-PostX-ExpirationDate」ヘッダーが含まれます。

以下は、『[Eメールセキュリティアプライアンスユーザーガイド](#)』からの抜粋です。

メッセージへの暗号化ヘッダーの挿入

AsyncOSを使用すると、コンテンツフィルタまたはメッセージフィルタを使用してメッセージにSMTPヘッダーを挿入することによって、メッセージに暗号化設定を追加できます。暗号化ヘッダーは、関連付けられた暗号化プロファイルで定義された暗号化設定を上書きでき、指定された暗号化機能をメッセージに適用できます。

手順

ステップ [メールポリシー] > [送信コンテンツフィルタ]または[受信コンテンツフィルタ]に移動します。

1

ステップ [フィルタ]セクションで、[フィルタの追加]をクリックします。

2

ステップ3 [アクション]セクションで、[アクションの追加]をクリックし、[ヘッダーの追加/編集]を選択し、たとえば、登録済みエンベロープを送信してから24時間後に期限切れにする場合は、ヘッダー

次の作業

関連項目

- 暗号化コンテンツフィルタの作成の詳細については、「コンテンツフィルタを使用したメッセージの暗号化と[即時配信](#)」を参照してください。
- メッセージフィルタを使用してヘッダーを挿入する方法の詳細は、「メッセージフィルタを使用して電子メールポリシーを強制する」を参照してください。

暗号化ヘッダー

次の表に、メッセージに追加できる暗号化ヘッダーを示します。

MIMEヘッダー	説明
X-PostX-Reply-Enabled	メッセージに対してセキュリティで保護された返信を有効にする
X-PostX-Reply-All-Enabled	メッセージに対して安全な「全員に返信」を有効にするかどうか
X-PostX-Forward-Enabled	セキュアメッセージ転送を有効にするかどうかを示し、メッセー
X-PostX-Send-Return-Receipt	開封確認を有効にするかどうかを示します。受信者がセキュア工
X-PostX-ExpirationDate	登録済みエンベロープを送信する前に、登録済みエンベロープのCisco Registered Envelope Serviceを使用している場合は、 http://
X-PostX-ReadNotificationDate	登録済みエンベロープを送信する前に、登録済みエンベロープの
X-PostX-Suppress-Applet-For-Open	復号化アプレットを無効にするかどうかを示します。復号化アプ
X-PostX-Use-Script	JavaScriptを使用しないエンベロープを送信するかどうかを示しま
X-PostX-Remember-Envelope-Key-Checkbox	は、メッセージに暗号化設定を追加します。 エンベロープをオフラインで開くときに、エンベロープ固有のキ

暗号化ヘッダーの例

このセクションでは、暗号化ヘッダーの例を示します。

オフラインで開くためのエンベロープキーキャッシュの有効化

エンベロープキーキャッシュが有効になっている登録済みエンベロープを送信するには、メッセージに次のヘッダーを挿入します。

```
X-PostX-Remember-Envelope-Key-Checkbox:true
```

登録済みエンベロープに[このエンベロープのパスワードを記憶する]チェックボックスが表示されます。

Javascriptなしのエンベロープの有効化

JavaScriptフリーの登録済みエンベロープを送信するには、メッセージに次のヘッダーを挿入します。

```
X-PostX-Use-Script:false
```

受信者がsecuredoc.html添付ファイルを開くと、登録済みエンベロープが[オンラインで開く]リンクとともに表示され、[開く]ボタンが無効になります。

メッセージの有効期限の有効化

メッセージを送信してから24時間経過するようにメッセージを設定するには、メッセージに次のヘッダーを挿入します。

```
X-PostX-ExpirationDate:+24:00:00
```

受信者は、暗号化されたメッセージを送信した後24時間以内に、その内容を開いて表示できます。その後、登録済みエンベロープに、エンベロープの有効期限が切れたことを示すメッセージが表示されます。

復号化アプレットの無効化

復号化アプレットを無効にして、キーサーバでメッセージ添付を復号化するには、メッセージに次のヘッダーを挿入します。

```
X-PostX-Suppress-Applet-For-Open:true
```

注：復号化アプレットを無効にすると、メッセージが開くまでに時間がかかることがあります。ブラウザ環境に依存しません。